



平成27年度のごみ処理経費についてお知らせします

千葉市では、環境省が策定した「一般廃棄物会計基準」に基づき、ごみ処理にかかっている費用を算出しています。

平成27年度のごみ処理経費について、千葉市のごみの分別種類ごとに、「収集運搬」、「中間処理」、「最終処分」、「資源化」、「管理」のそれぞれの費用を取りまとめましたので、お知らせします。

なお、それぞれの費用には、人件費や委託業者への委託料、物品購入費用、設備（収集車両や工場など）の減価償却費などが含まれています。

収集運搬	収集運搬とは、家庭から出る可燃ごみ、不燃ごみ、びん・缶・ペットボトルなどの資源物を、回収場所であるごみステーションから収集車で集め、清掃工場やリサイクルセンターなどへ運ぶことをいいます。	
中間処理	中間処理とは、収集した可燃ごみを清掃工場で焼却することや、不燃ごみ・粗大ごみをリサイクルセンターで破碎処理や圧縮処理を行い、埋め立てられるようにすることをいいます。	
最終処分	最終処分とは、清掃工場で可燃ごみを焼却した後に出る灰や、リサイクルセンターで破碎処理や圧縮処理を行った不燃ごみ・粗大ごみなどを埋め立てることをいいます。	
資源化	資源化とは、収集したビン・缶・ペットボトルなどの資源物をリサイクルするため、リサイクルセンターなどで選別したり、圧縮したりすることをいいます。	
管理	管理とは、清掃工場やリサイクルセンターの運営やごみ処理に関する計画の策定など、ごみ処理全体に関わる業務をいいます。	

1 ごみ処理費用（単位：円／年）

ごみの種類ごとに、1年間に処理にかかる費用をそれぞれの部門別に取りまとめたものが下の表です。ごみ処理全体で年間約134億7千3百万円の費用がかかっています。

	収集運搬 部門費	中間処理 部門費	最終処分 部門費	資源化部門費	管理部門費	費用合計
可燃ごみ	1,644,439,150	5,921,937,111	927,031,675	0	918,458,070	9,411,866,006
不燃ごみ	277,003,930	268,909,007	56,917,788	108,813,423	35,314,933	746,959,081
粗大ごみ	874,971,760	121,224,205	28,657,229	54,711,796	158,700,790	1,238,265,780
資源物(びん)	294,093,133	0	0	367,434,137	34,546,691	696,073,961
資源物(缶)	463,120,022	0	0	341,989,527	39,953,100	845,062,649
資源物(ペットボトル)	343,690,894	0	0	143,771,547	24,190,044	511,652,485
有害ごみ	12,628,262	0	0	9,833,851	1,114,669	23,576,951
合 計※	3,909,947,151	6,312,070,323	1,012,606,692	1,026,554,281	1,212,278,297	13,473,456,744

※資源物（古紙・布類）については、再資源化事業者による収集運搬・資源化を行っているため対象外です。

※合計については、端数処理のため、一致しない場合があります。

2 取扱量（単位：t／年）

ごみの種類ごとに、各部門で取り扱った量を示したものが下の表です。

平成27年度の千葉市の「焼却ごみ量」は「252,836 t」ですが、ごみ処理経費の計算では、不燃ごみや粗大ごみとして収集又は直接搬入されたもので焼却処分されたものは、不燃ごみ量や粗大ごみ量に含まれるため、「中間処理投入量」の「可燃ごみ量 247,350 t」とは一致しません。

	収集運搬量	中間処理投入量	最終処分投入量	資源化投入量
可燃ごみ	166,861	247,350	19,637	—
不燃ごみ	7,139	8,241	1,206	1,070
粗大ごみ	3,583	3,391	607	538
資源物(びん)	7,694	—	—	7,694
資源物(缶)	2,736	—	—	2,736
資源物(ペットボトル)	3,069	—	—	3,069
有害ごみ	132	—	—	132
合 計	191,214	258,982	21,450	15,239

3 1kg当たりの原価

ごみの種類ごとに、1で示した各部門の「ごみ処理費用」を、2で示した「取扱量」で除したものの（トンを経グラムに変換しているため、1,000分の1となっている）が下の表です。

	収集運搬部門原価 (円/kg・収集運搬量)	中間処理部門原価 (円/kg・中間処理投入量)	最終処分部門原価 (円/kg・最終処分投入量)	資源化部門原価 (円/kg・資源化投入量)
可燃ごみ	9.86	23.94	47.21	—
不燃ごみ	38.80	32.63	47.20	101.69
粗大ごみ	244.20	35.75	47.21	101.69
資源物(びん)	38.22	—	—	47.76
資源物(缶)	169.27	—	—	125.00
資源物(ペットボトル)	111.99	—	—	46.85
有害ごみ	95.67	—	—	74.50
平均	20.45	24.37	47.21	67.36

4 収集した資源物の売却や清掃工場での発電による電力売却による収入

(資源物)

資源物として収集したものを、新浜リサイクルセンターで中間処理したものを売却しています。

主に、びん・缶・ペットボトル・鉄くずを売却していますが、収集したものから資源となるものを売却しているため、収集量とは一致しません。

<資源物等の売却収入>

【H31.3 修正版】

	売却量(トン)	平均単価(円/トン)※1	売却金額(円)
びん類	3,634	1,012	3,677,807
アルミ缶	1,508	170,501	257,115,762
鉄缶	1,100	20,480	22,528,401
ペットボトル※2	3,069	31,366	96,261,766
鉄くず※3	1,356	14,025	19,017,713
その他資源物※4	245	7,427	1,819,706
合 計	10,912	—	400,421,155

※1：平均単価は、売却金額を売却量で除したものです。

※2：ペットボトルは、容器包装リサイクル協会からの再商品化合理化拠出金、有償入札拠出金です。

※3、※4：粗大ごみを破碎処理した後にでる鉄くずなどです。

(売電・熱供給)

新港清掃工場、北清掃工場でごみを焼却したときの熱（蒸気）により発電し、その電気や熱（蒸気）を電力会社や清掃工場の周辺企業へ売却しています。

<売電等収入>

	売却量	平均単価※1	金額(円)※2
売電収入	47,092,884kWh	15.59 円/kWh	734,340,911
熱供給収入	38,337,528MJ	1.18 円/MJ	45,268,796
合 計	—	—	779,609,707

※1 平均単価は、売却金額を売却量で除したものです。

※2 金額は、日本ロジテック協同組合破産による未収金は含みません。

kWh（キロワットアワー）：1時間当たりの発電電力量

MJ（メガジュール）：1,000,000 ジュール = 熱量の単位

5 その他

古紙・布類の資源化を推進するため、集団回収を行う町内自治会等の実施団体及び回収業者並びにごみステーションでの分別収集を行う業者に補助金を支出しています。なお、回収経費の一部に売却益を充てているため、市への収入はありません。

		資源化量(トン)	補助平均単価 (円/kg)	補助金額(円)※2※3
古 紙※1	集団回収	13,567	6.2	83,849,315
	ごみステーションでの分別収集	16,924	7.1	120,575,945
布 類	集団回収	528	12.9	6,807,459
	ごみステーションでの分別収集	824	13.7	11,283,731
合 計	集団回収	14,095	6.4	90,656,774
	ごみステーションでの分別収集	17,748	7.4	131,859,676

※1：古紙回収庫搬入分はごみステーションでの分別収集に含まれます。

※2：集団回収実施団体への補助金は、回収量 1kg 当たり 2 円に、拠点回収の場合の月 500 円を加算した金額です。

※3：回収業者への補助金は、回収経費から市場(売却)価格を差し引いて算出した品目別単価に資源化量に乗じた金額です。